

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2019年11月12日

**【四半期会計期間】** 第61期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

**【会社名】** S M C 株式会社

**【英訳名】** SMC CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 丸山 勝徳

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区外神田四丁目14番1号

**【電話番号】** 03-5207-8271(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員経理部長 太田 昌宏

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区外神田四丁目14番1号

**【電話番号】** 03-5207-8271(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役執行役員経理部長 太田 昌宏

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第60期 第2四半期 連結累計期間	第61期 第2四半期 連結累計期間	第60期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(百万円)	302,462	264,470	576,948
経常利益	(百万円)	112,360	72,972	198,201
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	76,014	53,603	130,631
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	83,900	8,857	119,759
純資産	(百万円)	1,220,846	1,220,671	1,243,252
総資産	(百万円)	1,371,734	1,350,521	1,389,308
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	1,130.84	801.23	1,943.35
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	88.8	90.1	89.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	17,318	71,359	75,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	37,452	9,935	58,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	3,340	38,102	26,151
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	306,085	342,904	312,366

回次		第60期 第2四半期 連結会計期間	第61期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	508.44	398.75

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であったSMCベトナム、日本機材上海、SMCインドネシア、SMCポーランド、SMCトルコ、SMCフィンランド、SMCハンガリー、SMCデンマーク及びSMCスロベニアの9社は重要性が増したため、連結の範囲に含めています。

当社グループの構成は、当社並びに子会社73社(連結子会社44社、非連結子会社29社)及び関連会社1社となりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について、重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から同年9月30日まで)においては、米中貿易摩擦の影響などから世界経済の先行き不透明感が深まる中、幅広い業種において設備投資を手控える動きが広がり、自動制御機器の需要は総じて低調に推移しました。半導体関連向けは日本・北米・アジアで大幅な減少が続きました。自動車関連向けは欧州・アジアを中心に各地域で減少しました。工作機械向けは各地域で引続き低迷しました。

こうした状況のもと当社グループの売上高は264,470百万円(前年同四半期比12.6%減)となり、主に減収の影響から営業利益は73,472百万円(同24.6%減)、円高に伴う為替差損の発生などから経常利益は72,972百万円(同35.1%減)、税金等調整前四半期純利益は72,925百万円(同35.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は53,603百万円(同29.5%減)となりました。

自己資本四半期純利益率(ROE)は、前年同四半期に比べ2.0ポイント低下して4.4%となりました。

なお、単一の報告セグメントである自動制御機器事業の売上高は263,357百万円(同12.6%減)、営業利益は75,808百万円(同24.3%減)となりました。報告セグメントに含まれないその他の売上高は1,207百万円(同5.6%増)、営業利益は126百万円(同6.4%増)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて38,786百万円(2.8%)減少して1,350,521百万円となりました。主な要因は、減収に伴い受取手形及び売掛金が18,192百万円、売却等により有価証券が20,770百万円それぞれ減少したことです。

負債は、前連結会計年度末に比べて16,205百万円(11.1%)減少して129,850百万円となりました。主な要因は、子会社における設備資金の調達などにより長期借入金が4,415百万円増加したものの、納税に伴い未払法人税等が5,704百万円減少したことです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて22,581百万円(1.8%)減少して1,220,671百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が49,421百万円増加した一方、27,327百万円の自己株式の取得を実施したこと及び円高に伴い為替換算調整勘定が31,380百万円のマイナス(前連結会計年度末は12,824百万円のプラス)となったことです。

この結果、自己資本比率は90.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末比30,538百万円増加して342,904百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は71,359百万円(前年同四半期比54,041百万円の収入増)となりました。前年同四半期対比の主な増減要因は、税金等調整前四半期純利益の減少39,469百万円により資金が減少したものの、減収に伴う売上債権の減少17,165百万円、支払いサイト短縮の影響が解消したことに伴う仕入債務の増加47,553百万円、課税所得の減少に伴う法人税等の支払額の減少10,985百万円により資金が増加したことです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果稼得した資金は9,935百万円(前年同四半期は37,452百万円の支出)となりました。前年同四半期対比の主な増加要因は、定期預金の預入・払戻による差引収入51,599百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は38,102百万円(前年同四半期比34,761百万円の支出増)となりました。前年同四半期対比の主な減少要因は、短期借入金の純増額の減少8,845百万円及び自己株式の取得による支出27,317百万円です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、10,928百万円(前年同四半期比4.4%増)です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	67,369,359	67,369,359	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株です。
計	67,369,359	67,369,359	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	67,369	-	61,005	-	72,576

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有 株式数の割合 (%)
ジェービー モルガン チェース バンク 380055 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	270 PARK AVENUE, NEW YORK, NY 10017, UNITED STATES OF AMERICA (東京都港区港南二丁目15番1号)	4,114.7	6.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	3,804.0	5.71
合同会社高田インターナショナル	千葉県市川市国分一丁目13番13号	3,793.0	5.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	3,717.3	5.58
トン ファイナンス ピーブイ (常任代理人 株式会社りそな銀行)	DE RUYTERKADE 120 1011AB, AMSTERDAM (東京都江東区木場一丁目5番65号)	3,443.5	5.17
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140042 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	240 GREENWICH STREET, NEW YORK, NY 10286, U.S.A. (東京都港区港南二丁目15番1号)	2,213.4	3.32
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町二丁目2番1号	1,959.8	2.94
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町一丁目13番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号)	1,516.0	2.27
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140044 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	240 GREENWICH STREET, NEW YORK, NY 10286, U.S.A. (東京都港区港南二丁目15番1号)	1,355.9	2.03
野村信託銀行株式会社(信託口2052208)	東京都千代田区大手町二丁目2番2号	1,239.4	1.86
計		27,157.3	40.82

(注) 以下のとおり大量保有報告書(変更報告書)が公衆の縦覧に供されていますが、当社として2019年9月30日時点における実質所有株式数の確認ができないため、上記大株主の状況には含めていません。

氏名又は名称	住所	報告義務発生日	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
ノーザン・クロス・エルエルシー	アメリカ・ボストン	2015年8月3日	2,805.8	4.16
ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント・エルエルシー	アメリカ・ニューヨーク	2017年10月13日	2,252.6	3.34
キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニーほか4社	アメリカ・ロサンゼルスほか	2019年7月15日	5,307.7	7.88

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 850,400	-	単元株式数は100株です。
完全議決権株式(その他)	普通株式 66,471,100	664,711	単元株式数は100株です。
単元未満株式(注)	普通株式 47,859	-	-
発行済株式総数	67,369,359	-	-
総株主の議決権	-	664,711	-

(注) 「単元未満株式」の普通株式の株式数には、当社所有の自己株式62株が含まれています。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
S M C 株式会社	東京都千代田区外神田四丁目14番1号	850,400	-	850,400	1.26
計	-	850,400	-	850,400	1.26

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は次のとおりです。

役職の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
取締役相談役	取締役専務執行役員 管理本部長	薄井 郁二	2019年7月1日
代表取締役副社長 営業本部長	取締役専務執行役員 営業本部長	高田 芳樹	2019年9月26日
取締役名誉会長	代表取締役会長	高田 芳行	2019年9月26日

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、清陽監査法人による四半期レビューを受けています。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	519,609	525,037
受取手形及び売掛金	158,079	139,886
有価証券	31,977	11,206
商品及び製品	102,936	102,968
仕掛品	19,753	18,149
原材料及び貯蔵品	107,578	106,566
その他	28,449	15,310
貸倒引当金	460	399
流動資産合計	967,924	918,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,752	73,058
機械装置及び運搬具（純額）	27,928	29,543
土地	38,194	38,706
その他（純額）	30,465	40,217
有形固定資産合計	170,342	181,526
無形固定資産	11,456	11,020
投資その他の資産		
投資有価証券	96,320	92,657
保険積立金	132,936	138,018
その他	11,807	9,977
貸倒引当金	1,479	1,406
投資その他の資産合計	239,585	239,247
固定資産合計	421,384	431,793
資産合計	1,389,308	1,350,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,513	37,516
短期借入金	4,503	2,680
未払法人税等	23,800	18,095
賞与引当金	2,894	3,802
その他	47,959	34,746
流動負債合計	117,670	96,842
固定負債		
長期借入金	2,735	7,150
役員退職慰労引当金	956	937
退職給付に係る負債	6,398	6,048
その他	18,295	18,872
固定負債合計	28,385	33,008
負債合計	146,056	129,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,005	61,005
資本剰余金	73,372	73,372
利益剰余金	1,088,960	1,138,382
自己株式	3,086	30,414
株主資本合計	1,220,251	1,242,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,667	7,193
為替換算調整勘定	12,824	31,380
退職給付に係る調整累計額	724	844
その他の包括利益累計額合計	19,767	25,032
非支配株主持分	3,232	3,357
純資産合計	1,243,252	1,220,671
負債純資産合計	1,389,308	1,350,521

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	302,462	264,470
売上原価	146,022	134,191
売上総利益	156,439	130,278
販売費及び一般管理費	58,937	56,806
営業利益	97,501	73,472
営業外収益		
受取利息	4,521	5,509
為替差益	7,867	-
その他	2,699	2,138
営業外収益合計	15,088	7,648
営業外費用		
支払利息	56	75
売上割引	129	125
為替差損	-	7,626
その他	42	320
営業外費用合計	229	8,148
経常利益	112,360	72,972
特別利益		
固定資産売却益	64	123
子会社清算益	-	117
その他	9	28
特別利益合計	73	269
特別損失		
固定資産売却損	6	66
固定資産除却損	31	88
子会社株式評価損	-	159
その他	0	0
特別損失合計	38	315
税金等調整前四半期純利益	112,395	72,925
法人税等	36,194	19,246
四半期純利益	76,201	53,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	186	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,014	53,603

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	76,201	53,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,298	478
為替換算調整勘定	6,431	44,222
退職給付に係る調整額	31	120
その他の包括利益合計	7,698	44,821
四半期包括利益	83,900	8,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,746	8,802
非支配株主に係る四半期包括利益	153	55

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	112,395	72,925
減価償却費	7,706	7,906
貸倒引当金の増減額(は減少)	83	79
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	23	19
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	439	541
受取利息及び受取配当金	4,926	5,968
支払利息	56	75
為替差損益(は益)	6,695	4,834
投資有価証券売却損益(は益)	-	21
投資有価証券評価損益(は益)	-	159
売上債権の増減額(は増加)	5,313	11,852
たな卸資産の増減額(は増加)	15,158	3,620
仕入債務の増減額(は減少)	44,372	3,180
その他の流動資産の増減額(は増加)	12,509	1,191
その他の流動負債の増減額(は減少)	9,353	2,550
その他	944	1,579
小計	45,403	87,746
利息及び配当金の受取額	5,030	5,755
利息の支払額	69	81
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	33,046	22,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,318	71,359
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	90,317	135,771
定期預金の払戻による収入	73,472	170,526
有形固定資産の取得による支出	16,298	20,553
無形固定資産の取得による支出	546	197
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	1,658	11,425
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,656	11,637
貸付けによる支出	0	0
貸付金の回収による収入	181	36
保険積立金の積立による支出	6,629	6,617
保険積立金の払戻による収入	2,257	1,877
その他	429	424
投資活動によるキャッシュ・フロー	37,452	9,935
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	10,090	1,245
長期借入れによる収入	1,000	5,000
長期借入金の返済による支出	945	3,663
自己株式の取得による支出	10	27,328
配当金の支払額	13,440	13,316
その他	33	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,340	38,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,870	16,860
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	16,605	26,332
現金及び現金同等物の期首残高	322,690	312,366
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	4,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	306,085	342,904

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であったSMCベトナム、日本機材上海、SMCインドネシア、SMCポーランド、SMCトルコ、SMCフィンランド、SMCハンガリー、SMCデンマーク及びSMCスロベニアの9社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、一部の連結子会社の税金費用については、当該見積実効税率に代えて法定実効税率により計算し、繰延税金資産については回収見込額を合理的に見積り、その範囲内で計上しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料及び手当	20,352 百万円	20,797 百万円
賞与	5,134	3,880
退職給付費用	765	863
貸倒引当金繰入額	30	57

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	529,730 百万円	525,037 百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	223,645	182,132
現金及び現金同等物	306,085	342,904

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	13,443	200	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月7日 取締役会	普通株式	13,443	200	2018年9月30日	2018年11月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	13,443	200	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月12日 取締役会	普通株式	13,303	200	2019年9月30日	2019年11月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動制御機器事業				
売上高					
外部顧客への売上高	301,409	1,052	302,462	-	302,462
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	90	90	90	-
計	301,409	1,143	302,552	90	302,462
セグメント利益	100,089	118	100,208	2,706	97,501

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、営業倉庫業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 2,706百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費中の全社費用 2,706百万円を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動制御機器事業				
売上高					
外部顧客への売上高	263,357	1,112	264,470	-	264,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	94	94	94	-
計	263,357	1,207	264,564	94	264,470
セグメント利益	75,808	126	75,934	2,462	73,472

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、営業倉庫業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 2,462百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費中の全社費用 2,462百万円を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、「自動制御機器事業」に属するSMCベトナム、日本機材上海、SMCインドネシア、SMCポーランド、SMCトルコ、SMCフィンランド、SMCハンガリー、SMCデンマーク及びSMCスロベニアの9社を新たに連結の範囲に含めております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	1,130円84銭	801円23銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	76,014	53,603
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	76,014	53,603
普通株式の期中平均株式数(千株)	67,219	66,900

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(1) 2019年11月12日開催の取締役会において、第61期事業年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の中間配当  
 に関し次のとおり決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....13,303百万円

1株当たりの金額.....200円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年11月29日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、支払いを行います。

(2) 上記のほかには特記すべき事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

S M C 株式会社  
取締役会 御中

### 清 陽 監 査 法 人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	斉藤	孝
指定社員 業務執行社員	公認会計士	乙藤	貴弘
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中山	直人

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているS M C 株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、S M C 株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。